



町長 しばさき とくいちろう 柴崎 徳一郎



録画映像はこちら

### 町長施政方針演述

# 第5次総合計画達成と新規事業の推進 ～さらなる発展の年に～

#### ① 支え合う健康と福祉のまち

保育園児第2子保育料の無償化を実施。子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から子育て期まで継続した支援。子ども・弱者への医療費無料化を継続。健康No.1プロジェクトは、「健康ポイント事業」で、町民の健康意識・積極的健康づくりを促進。

#### ② こころ豊かな教育と文化のまち

学校給食費の保護者負担の軽減を継続。小・中学校のICT設備を充実し、タブレット端末を活用した学習活動を推進。吉中生徒の東京オリンピック観戦事業。三津屋古墳駐車場整備。

#### ③ 活力ある産業と雇用のまち

群馬DCに参画。町の自然美や自然に親しむ活動を通し観光PRを展開。道の駅「よしおか温泉」を地域観光案内、情報発信の拠点で活用。町特産品の乾燥手事業のさらなる商品開発、発展を図る。

#### ④ 魅力的な自然と環境のまち

受け継いだ自然環境を守り、地域環境の保全に努めつつ、観光開発を図る。

#### ⑤ 住みよい安全で便利なまち

詐欺防止機能付き電話機・自動車誤発進防止装置・防災士講習などの支援実施。近年の異常気象・町民皆様からの意見などを踏まえ、地域防災計画の見直し。駒寄スマートIC大型車対応化工事の完成。IC周辺地域の交通渋滞緩和策で、町道熊野・吉開戸線を拡幅。タクシー運賃助成・高校生通学支援を継続、防災無線デジタル化を推進。

#### ⑥ 町民と行政が協働するまち

町民行政協働促進事業の体制作り。男女共同参画・ふるさと納税事業の促進。第6次吉岡町総合計画を令和2年度内に策定。

## 町長の施政方針を問う

町長の施政方針に対し、4人の議員が質問しました。

### 工業団地開発は 町の将来に不可欠



とみおか たいし 富岡 大志 議員



録画映像はこちら

#### 問

駒寄スマートIC西側工業団地の開発は、この町の将来にとって不可欠。開発に対する町長の考えは。

#### 町長

この地域は工業系の産業誘致先として有望な立地環境にある。今後の工業団地としての利用について、具体的に検討すべき時期に来ている。

#### 問

工業団地開発と企業誘致は、前橋市と一体化したものととして考えていくのか。

#### 町長

駒寄スマートIC西側の午玉頭川の南側は、前橋市が産業団地の開発

#### 問

を進めている。一体化した工業団地の開発については、行政区界や事業の進捗が異なるので、非常に難しく現実的ではないものとの認識。しかし、企業誘致を進めるには、前橋市との連携を図ることが必要と考えている。

#### 町長

災害対策本部に「は、スペシャリストである「危機管理監」が必要。退職自衛官になっていただくことが最善と思うが、町長の見解は。専門知識を有した人に対応してもらいたい。危機管理に精通した人材の採用を進めている。

# 商工会との連携で産業振興を



いわざき のぶゆき  
岩崎 信幸 議員



録画映像はこちら

**問** 商工業者の発展に、商工会との連携を図るべきだが。

**町長** 大型商業施設の進出が予定されるため、販売ルートの確立を含め、商工会と事業の推進を図る。

**問** 榛東村と共催の「春のわくわく満喫ツアー」の内容は。

**町長** 船尾滝の駐車場を出発し、遊歩道を散策しながら榛東村の創造の森までを巡るハイキングである。

**問** 船尾滝の崩落による対策は。

**町長** 滝に繋がる散策道を新設し、雑木を間伐。格段に整備された。

**問** 防災士講習会費の補助事業の内容は。

**町長** 防災士養成講座の希望者に、受講料・受験料などを助成。町消防団で分団長以上の経験者に資格取得費の助成を設定。

**問** タクシー運賃等助成事業の運賃形態と運行方法は。

**町長** 対象は70歳以上、19歳以上の無免許者、身体・精神障害者手帳1・2級、療育手帳Aの所有者。利用券は1回2枚(千円相当)まで利用可能で、年間配布上限72枚(3万6千円相当)。

# 町民行政協働促進事業の内容は



ひろしま  
廣嶋 隆 議員



録画映像はこちら

**問** 町民行政協働促進事業の具体的な内容は。

**町長** 職員に対して「地域に飛び出す公務員ネットワーク」への登録を呼びかけ、どのような活動がされているか知ってもらう、自分ができることを模索することから始めてもらいたい。私自身も率先して地域に飛び出し、コミュニケーションをとって行けたらと思っています。

**問** 職員が24時間拘束されるのでは。

**町長** 自主的に行うもので24時間拘束はされない。

**問** 防災士講習会費補助事業の対象者は。

**町長** 各自治会の自主防災組織を支える防災士を増やす。町消防団で分団長以上を経験した人を対象。

**問** 自主防災組織への啓発活動などの見直しとあるが、防災士との関連は。

**町長** 各地域の防災力の向上が最重要課題のひとつ。自主防災組織の中核的人材を育成すること、それが防災士である。地域防災計画の見直しで、防災士の立ち位置を配慮したい。

# 給食費無償化、待機児童の解決は



こいけ はるお  
小池 春雄 議員



録画映像はこちら

**問** 小・中学校や保育園児の給食費の無償化と、保育園の待機児童問題の解決は。

**町長** 給食費無償化は今後の検討課題としたい。保育所の待機児童解消に向けて、保育園と協議していきたい。

**問** 町長になって、初めての予算編成。やればさまざまなのができたと思うが、新年度予算に向けた町長の抱負は。

**町長** 町民目線で町民の暮らしを最優先にした思いやりの町政運営、均衡のとれた地域発展の推進、心触れ合う協働の町づくりを柱に、新しい時代を拓いていきたい。

**問** 子育て・弱者支援制度の積極活用を図ると公約の中にあるが、予算にどの程度反映されたか。

**町長** 新規事業として保育園など第2子無償化、後付けの自動車誤発進防止装置の購入費の補助事業などを予算化した。タクシー運賃等助成事業や、高校生等通学支援事業の予算増額なども、子育て・弱者制度の活用と捉えていきたい。